

ごみの中にも貴重な“紙源” 分別すれば大切な“資源”

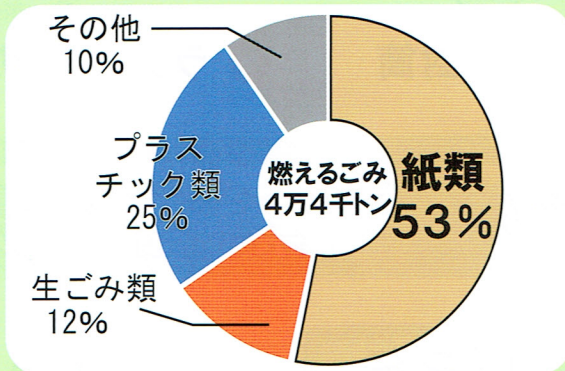
紙類を燃えるごみで出していないですか？

燃えるごみとして出される紙類の中には、資源として再生できる「雑がみ」が多く混ざっています。

「ごみ」として出すのではなく、資源としての分別に、皆様のご協力をお願いいたします。

習志野市の燃えるごみのうち、約50%が「紙類」です。年間2万トンを超える紙類が、燃えるごみとして出されています。

習志野市の燃えるごみの内訳
(平成28年度)



「雑がみ」とは？

雑がみは、新聞紙・チラシ・雑誌・段ボール・牛乳パック以外の「再生できる紙類」のことをいいます。具体的には…

お菓子の箱

ノート・コピー用紙

カレンダー

パンフレット

封筒・はがき

紙袋

※紙類の中でも再生できない「禁忌品」があります。詳しくは裏面を参照してください。

雑がみのまとめ方・出し方

ノートのように大きなものはひもでしばって、小さいものや大きさが異なるものは紙袋に入れてひもでしばって、**資源物の日**に集積所にお出してください。

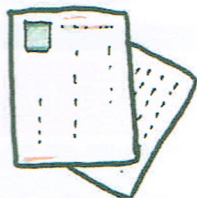
※ビニールコーティングされた袋では出せません。
ガムテープなどの粘着テープは使用しないでください。



リサイクルできる紙、できない紙

紙以外の異物は取り除いてください。

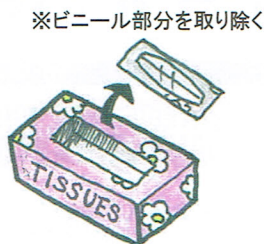
雑がみ（リサイクルできる紙）



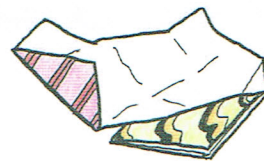
○ はがき



○ 紙箱

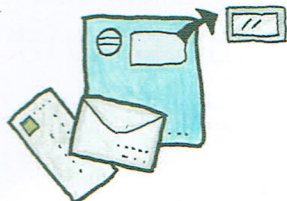


○ ティッシュの箱

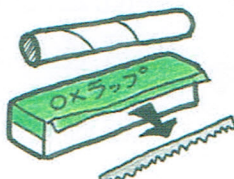


○ 包装紙

※のりしろ部分の粘着物や
窓付き封筒のビニール部分は取り除く



○ 封筒



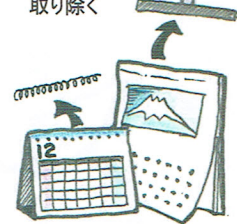
○ ラップなどの箱や芯

※持ち手が紙以外の場合、
その部分は取り除く



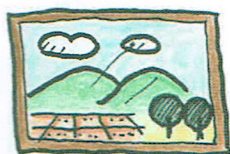
○ 紙袋

※金具やプラスチックは
取り除く

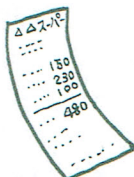


○ カレンダー

禁忌品（リサイクルできない紙）



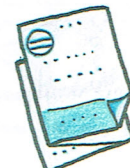
× 写真、
写真プリント用紙



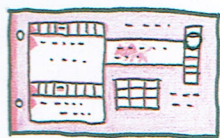
× 感熱紙
(レシート、FAXロール紙)



× 食べ物や油で
汚れた紙



× 圧着はがき

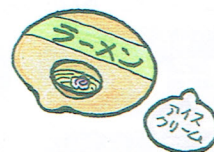


× カーボン紙
感圧複写紙

(宅配便の複写伝票など)



× 防水加工された紙
(アイスクリーム、
カップめんなど)



× ビニールやアルミ箔
などの複合紙

※その他、銀紙、和紙、油紙、合成紙、捺染紙(靴やカバンの詰め物として使われるもの)、シュレッダーくず、
においがついた紙、粘着テープはリサイクルには向かないため、燃えるごみにお出してください。

【ご注意ください！】

- ・ クリップなどの金属、セロハンテープ、布などが混ざらないようにしてください。
- ・ 雨の日は濡れてカビの原因となるため、出さないでください。
- ・ 個人情報部分は塗りつぶす・切り取るなどしてお出してください。